

国勢調査結果にみる青梅市の人口動態と将来動向

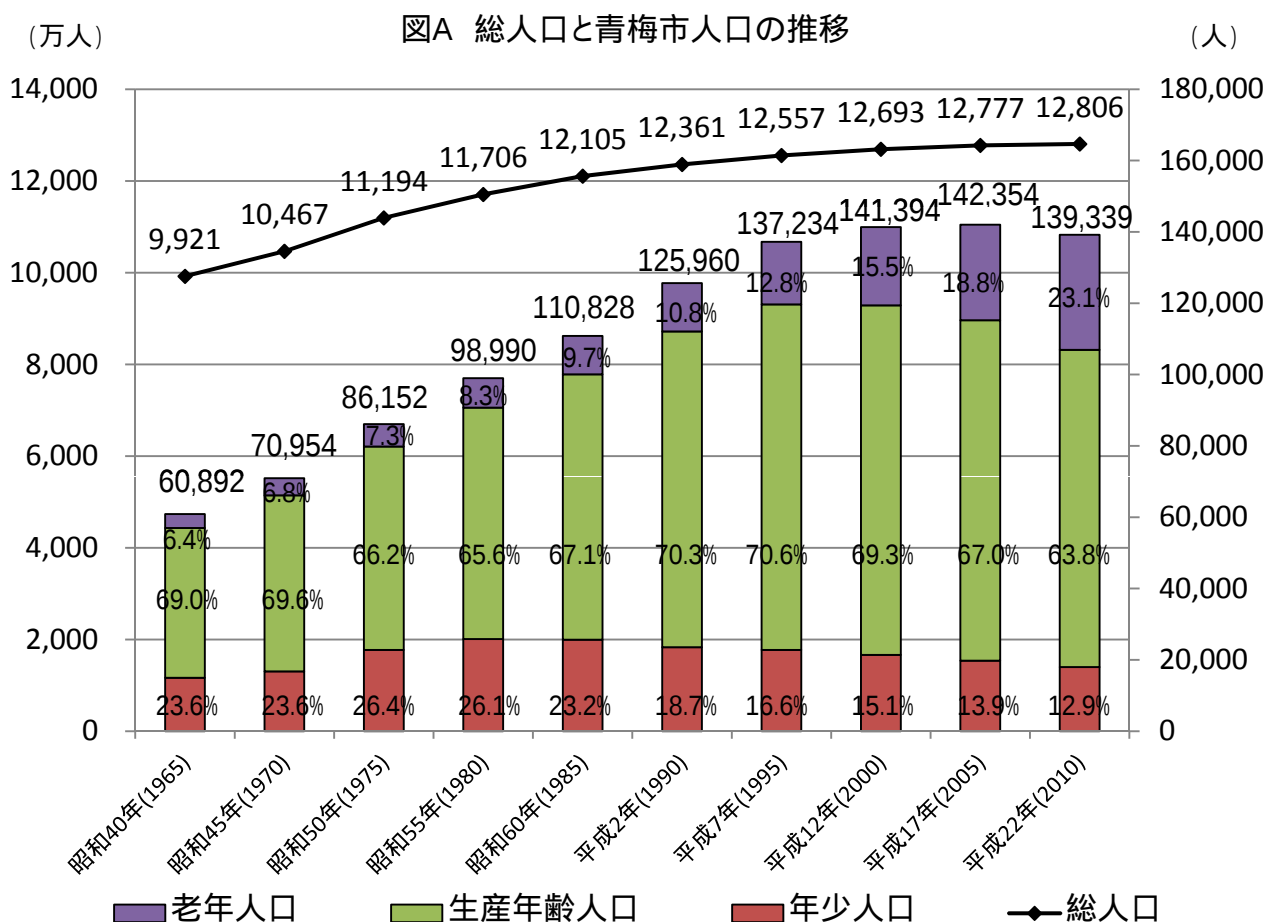
国勢調査結果(全国・青梅市)

平成22年国勢調査による10月1日現在の確定した総人口は1億2805万7352人となりました。平成17年～22年にかけての推移は横ばい（平成17年から0.2%増）となりました。

総人口を男女別にみると、男性が6232万7737人（総人口の48.7%）、女性が6572万9615人（総人口の51.3%）となり、女性の方が340万1878人多くなっています。

図Aのとおり、青梅市においては、平成17年まで人口増加の傾向にありましたが、平成22年は、139,339人（平成17年から3,015人2.1%減）となりました。

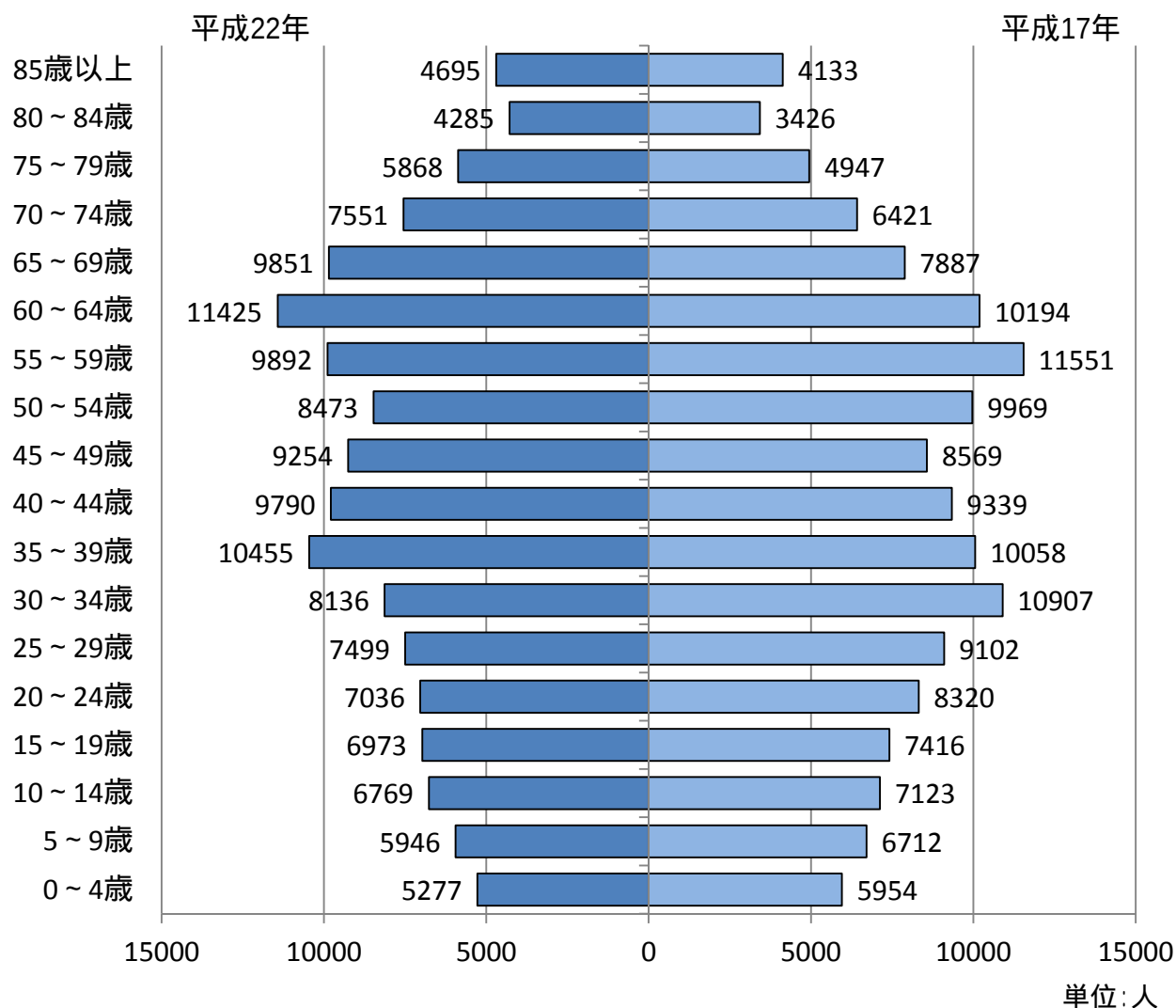
男女別にみると、男性が69,742人（人口の50.1%）、女性が69,597人（人口の49.9%）となりほぼ同数となっています。



年齢別の構成では、0歳から14歳までの年少人口は17,992人で人口比率12.9%（平成17年から1,797人9.1%減）、15歳から64歳までの生産年齢人口は88,933人で人口比率63.8%（同様に6,492人6.8%減）、65歳以上の老年人口は32,250人で人口比率23.1%（同様に5,436人20.3%増）となっています。

青梅市の人口を5歳年齢階級別（図B）に見てみると、人口のピークは60歳から64歳の11,425人となっており、次いで35～39歳の10,455人となっています。

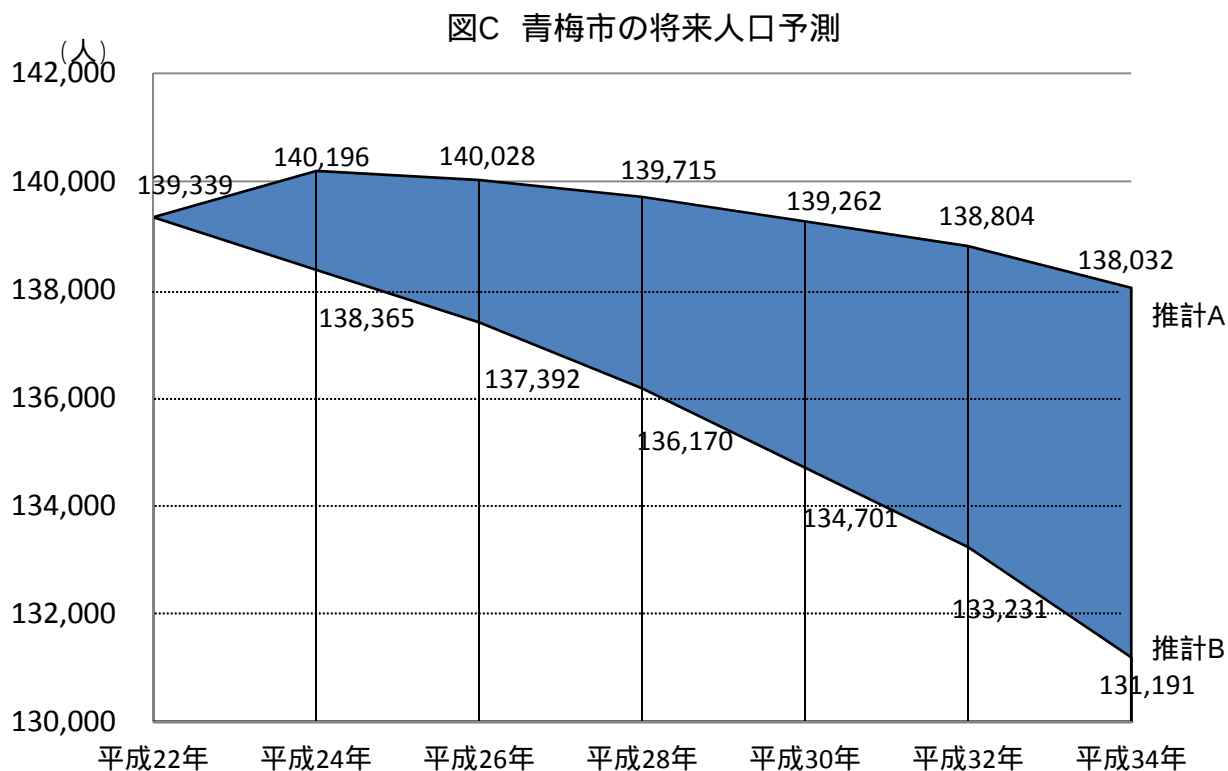
図B 青梅市の5歳階級別人口



青梅市の将来人口の動向

将来人口推計を行うにあたり、その計算方法というのは厚生労働省ホームページ等でも解説がされているコーホート法・トレンド法など代表的な計算方法というものがあります。

国勢調査結果から得られた人口動態をもとに、青梅市の将来人口について、この代表的な計算方法を用いて推計を行った結果が図Cです。



推計AおよびBは、トレンド法（時系列に沿って実績値を直線・曲線にあてはめる、数学的手法）で算定したものです。